第９講 【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル
PART3 宋代の社会と文化

Chapter 1　宋代の商業と都市

目標
宋代にはどの地域が穀倉地帯として発展したのだろうか。
宋代の商業都市が形づくられた経緯を理解しよう。

1　農業の発達

宋代には，長江下流域の低湿地の干拓や開発が進み，稲の生産量が増大

①新興地主層の〔　　　　　　〕が〔　　　　　〕（小作農）を駆使して**囲田**（低湿地を堤防で囲んで干拓した農地）を造成

②ベトナム地方から，日照りに強い早稲種の**占城稲**を導入して栽培
　→稲の生産量が増大し，また二毛作（裏作に麦）が可能となる

③長江下流域が「**蘇湖（江浙）熟すれば天下足る**」といわれた穀倉地帯となる
　※蘇は蘇州，湖は湖州の略。

④江南では茶の栽培が盛んになり，**喫茶**の風習が広まる
　→日本や朝鮮半島などにも広まり，茶が重要な輸出品となる

宋代の商店

2 都市と商業の発展

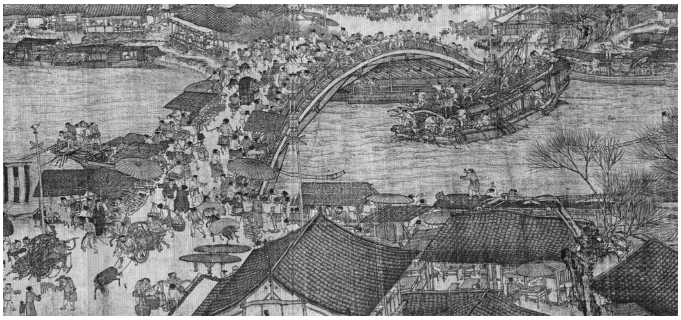
農業の発展にともなって商工業が盛んになり，貨幣経済が発達した。

①商業・流通の拠点の出現

A 城壁の外や交通の要衝に小規模な定期市〔　　　　　〕が建つ

B 定期市**草市**が，〔　　　　〕と呼ばれる商業都市に発展

※北宋の画家張択端の「**清明上河図**」に，都市の賑わいや商業活動の様子が描かれる。



「清明上河図」

②同業組合の形成

都市では，商人の同業組合〔　　　　〕や手工業者の同業組合〔　　　　〕が組織される

③貨幣経済の発展

A 貨幣経済が発展し，**銅銭**（宋銭）が大量に発行される

※宋銭は，日本をはじめ東アジア全域に輸出されて用いられた。

B 手形としてはじまった〔　　　　　〕（世界最古の紙幣）や〔　　　　　〕が紙幣として流通し，送銭手形の**飛銭**も用いられる

3 宋代の社会

海上交易の発展にともない，**広州**，**泉州**，**明州**（現・寧波）などの港に，海上交易を管理する役所〔　　　　　　　〕が置かれる。

まとめ

宋代には長江下流域が穀倉地帯となり，「蘇湖熟すれば天下足る」といわれた。農業生産力の増大により商業が発展し，定期市の草市が商業都市の鎮に発展した。

Chapter２　宋代の文化

目標
宋学（朱子学）と以前の儒学の特徴の違いについて学ぼう。
司馬光の歴史書『資治通鑑』が書かれた形式を知ろう。

1　宋代の文化の特徴

①貴族に代わり，儒学の教養を身につけた〔　　　　　　　〕が文化の担い手となる
②経済が発展したことを背景に，庶民的な文化や革新的な技術が生まれる

2　朱子学の発展

①宋学の成立
北宋の儒学者〔　　　　　　　〕が経典全体を哲学的に読み込み，宇宙万物の正しい本質（理）を追究する**宋学**をおこす
※それまでの訓詁学から転換し，哲学的な広がりをみせる。
②宋学の大成
南宋の儒学者〔　　　　　〕（朱子）が宋学を大成（**朱子学**ともいう）
※朱子学では，経典として『大学』『中庸』『論語』『孟子』の〔　　　　　〕を重視。
→朱子学は儒学の正統とされ，日本や朝鮮半島などに伝えられて官学となる
③陽明学の先駆け
南宋の儒学者〔　　　　　　　〕（陸象山）が心即理を主張し，明代の**陽明学**に影響を与える

3　仏教と道教

①仏教
士大夫層に〔　　　　　〕が受容され，民間には**浄土宗**が普及
②道教
金支配下の華北で，**王重陽**が儒・仏・道を融合した
〔　　　　　　　〕をおこす

4　歴史書

①〔　　　　　　〕

北宋の政治家で学者。歴史を年代順に記録する〔　　　　　　〕の通史〔　　　　　　　〕を編さん

②**欧陽脩**

北宋の政治家で学者。史書『新唐書』『新五代史』を編さん

5　文芸や美術・技術

①文芸

Ａ　歌劇の一種である〔　　　　〕が流行

Ｂ　散文が盛んとなり，〔　　　　　　〕，〔　　　　〕（蘇東坡）らの名文家を輩出

Ｃ　民謡から発展した〔　　　〕（宋詞）が流行

②美術

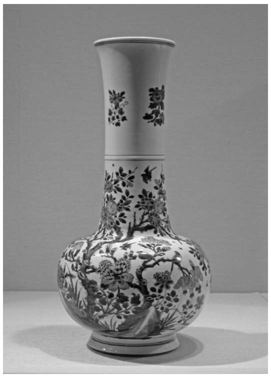
Ａ　宮廷画家による写実的で装飾性の強い〔　　　　　　〕（**北宗画**）が成立

※代表作に，北宋の第８代皇帝**徽宗**の「**桃鳩図**」がある。

Ｂ　士大夫や禅僧などが水墨や淡彩で描く〔　　　　　　〕（**南宗画**）が成立

③工芸

磁器の技術が発達。**景徳鎮**（江西省北部）などで〔　　　　〕や〔　　　　〕がつくられ，海外へ盛んに輸出される



景徳鎮の磁器

④科学技術

Ａ　〔　　　　　　　　〕が普及し，書物が大量に出版される

Ｂ　船の進路や方角を測る〔　　　　　　〕（磁針）や〔　　　　〕が実用化される

→ムスリム商人らによってヨーロッパに伝えられる

※漢代に改良された製紙法と合わせて，**中国の四大発明**という。

まとめ　宋学（朱子学）は，訓詁学が主流であった以前の儒学とは違い，宇宙の理を追究する哲学的な広がりがあった。
『資治通鑑』では，歴史を年代順に記述する編年体が用いられた。

第 9 講　PART３　確認問題

1　宋代の農業の説明として**誤っているもの**はどれか。

①　形勢戸が佃戸を使って囲田を造成した。
②　長江中流域が穀物生産の中心となった。
③　江南で茶の栽培が盛んになった。
④　占城稲が伝わり，稲の生産量が増大した。

2　宋代に生まれた，手工業者の同業組合を何というか。

①　座　　②　作
③　行　　④　ギルド

3　宋代に流通した世界最古の紙幣はどれか。

①　交子　　②　宝鈔
③　飛銭　　④　会子

4　宋代の文化の担い手になったのはどんな人々か。

①　郷紳と呼ばれた地方の有力者
②　外戚と呼ばれた皇后の親族
③　士大夫と呼ばれた資産家官僚
④　形勢戸と呼ばれた新興地主層

5 宋代に成立した宋学を大成した儒学者はだれか。

① 周敦頤　② 陸九淵
③ 王陽明　④ 朱熹

6 華北で王重陽がおこした道教教団の一派を何というか。

① 太平道　② 全真教
③ 五斗米道　④ 白蓮教

7 北宋の司馬光が編さんした編年体の歴史書はどれか。

① 『資治通鑑』　② 『史記』
③ 『四庫全書』　④ 『新五代史』

8 宋代に成立した，水墨あるいは淡い色彩で描かれた絵画の手法を何というか。

① 院体画　② 水墨画
③ 文人画　④ 山水画

第 9 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　宋代の穀物生産の中心は，**長江中流域ではなく，長江下流域**だった。長江中流域が穀物生産の中心となるのは明代になってからである。

2 解答：②　宋代には，手工業者の同業組合の**作**や，商人の同業組合の行が組織された。

3 解答：①　**交子**は，もともと富商が約束手形として発行したものだった。のちに宋朝に引き継がれて紙幣として発行され，流通した。

4 解答：③　宋代には，貴族に代わって資産家官僚の**士大夫**が政治的・社会的指導者になった。彼らは儒学の教養を身につけた知識人で，文化の担い手でもあった。

5 解答：④　宋学は周敦頤がおこし，**朱熹**が大成した。名前を取って朱子学とも呼ばれる。

6 解答：②　**全真教**は，王重陽を開祖として金治世下の華北で開かれた。

7 解答：①　『**資治通鑑**』は，司馬光が北宋の第５代皇帝英宗の命で編さんした歴史書で，戦国時代から五代末までの出来事が年代順に記述されている。

8 解答：③　**文人画**は，士大夫や禅僧など非職業画家が描いた絵で，南宋画，南画とも呼ばれる。